

サイラムザ+タルセバ療法を受けられる方へ

科 ID: 様

担当薬剤師

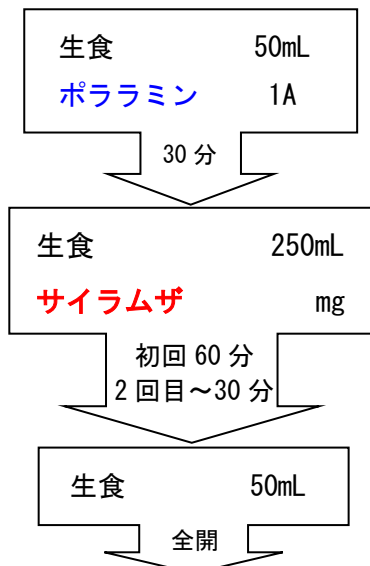
【投与スケジュール】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14 日目
サイラムザ	○													
タルセバ(内服)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

☆2週間毎に繰り返し行います。

☆検査の結果で投与スケジュールや投与量が変わる場合があります。

【点滴内容】



ポラミン：アレルギー症状を抑える薬です。

サイラムザ：がん細胞の増殖を抑える薬です。



【内服薬について】



タルセバ錠：がん細胞の増殖を抑える薬です。

毎日内服してください。

注意）飲めなかった薬は病院に持ってきてましょう。

タルセバ錠 150 mg：1回 1錠 1日1回



食事の1時間以上前または食後2時間以降に内服
 (食事の影響で薬が効きすぎる可能性があるため)

☆副作用等の状況で減量する場合があります。

【主な副作用と対策】

インフュージョン・リアクション：サイラムザの点滴を始めてから、発熱・悪寒・吐き気・頭痛・疼痛・痒み・発疹・咳・胸の重苦しさなどのアレルギーに似た症状が起こることがあります。違和感があるようでしたら知らせてください。

血管外漏出：針の刺入部の皮膚が赤くなる・腫れる・痛い・熱っぽい・かゆみが出るなどの症状が現れる場合があります。異常を感じたらすぐに知らせてください。

食欲不振、悪心・嘔吐：サイラムザ投与後～2-3日ほど、タルセバ内服中に現れることがあります。食事はにょいの少ないもの・冷たいもの・食べられるものを少しずつ摂取するようにしましょう。

口内炎：食後に歯磨きをするなど、口の中は清潔に保っておきましょう。

下痢：排便回数が増えたり、下痢になったりすることがあります。下痢をしている間は脱水にならないように水分摂取をしましょう。症状によっては下痢止めを使用することがあります。また、1日に4回以上の下痢や血の混じった便が出るときには連絡してください。



便秘：水分を摂取したり、お腹のマッサージをしましょう。下剤や便を軟らかくする薬も使います。

脱毛：脱毛が起こることがあります(10%以下)。投与後2～3週間経つと抜け始めます。治療終了後6ヶ月ほどで生えそろってきます。

腸管穿孔：稀ですが腸に穴があいてしまうことがあります。今までに経験したことのないようなお腹の痛みがある場合には、我慢せず、病院へ連絡してください。

創傷治癒遅延：お薬の影響で傷が治りにくくなっていますので、怪我には十分注意しましょう。

血栓症：血栓ができやすくなっています。足がむくんだり、痛くなったり、突然息切れがするようなことがありましたら知らせてください。



粘膜からの出血：血が止まりにくくなっています。怪我には十分注意しましょう。圧迫止血などをしても血が止まらない場合には連絡してください。

高血圧：血圧が高くなることがあります。もともと血圧を下げる薬を飲んでいる方は特に注意してください。自宅での血圧測定をお勧めします。



たんぱく尿：おしっこにたんぱくが混じることがあります。

可逆性後白質脳症症候群：非常に稀ですが可逆性後白質脳症症候群(脳のむくみ)を生じることがあります。頭痛・けいれん・意識がもうろうとする、視力障害などが見られる場合にはお知らせください。

皮膚への影響：顔や背中、胸、腕などににきびのような発疹、皮膚の乾燥・炎症が多くの方に起こります。石鹸を刺激の少ないものに変更したり、保湿剤を使って乾燥を防ぎましょう。また、日焼け止めなどで紫外線による刺激も避けましょう。
人によっては、手足の爪に影響が出る場合があります。
爪が巻き込んで化膿したりすることがあります。
ひどくなる前にお知らせ下さい。



角膜穿孔・角膜潰瘍：非常に稀ですが、薬の影響で角膜穿孔・角膜潰瘍が起こることがあります。
眼の痛みや眼のかすみ、視力低下などの症状がありましたらお知らせください。



肝機能の低下：薬の影響で肝臓に影響が出る場合があります。疲れやすい・腹部の不快感・食欲不振・白眼や皮膚が黄色くなるといった症状が出ることがあります。定期的に検査を行っていますが、自覚症状がありましたらお知らせください。

腎機能障害：薬の影響で腎臓に影響が出る場合があります。

心障害：薬の影響で心臓に負担がかかることがあります。



間質性肺炎：非常に稀ですが、薬の影響で肺炎が起こることがあります。
咳・発熱・息切れといった症状が続くようでしたらお知らせください。

その他：タルセバによる治療中は、薬の効果が減弱してしまうためタバコを控えてください。



副作用の全てが現れるわけではありません。

また、これら以外の副作用が現れる場合もあります。

気になる症状がありましたら必ず医師・薬剤師・看護師にご相談ください。

この説明書はかかりつけ医やかかりつけ薬局薬剤師にもお見せください。



お薬に関する相談先

北信総合病院 (代表)0269-22-2151
薬剤部 医薬品情報管理室 内線 2530

